

創部6年目で関東大会出場を視野に入れる。昨年の秋季大会では初めてシードを獲得、順当に勝ち上がり初の8強入りを果たした。

この冬は元ゴルフ場の地形を生かした同校敷地内で走り込みを行い、足腰を鍛えてきた。降雪で野外練習が行えない日は屋内でバドミントンのシャトルを打ち、芯で捉えないと捕球が難しいテニスボールで守備の姿勢を固めた。

秋の敗戦は準々決勝、甲子園常連の作新戦。鷲頭恵悟主将は「甲子園のレベルを知れた」と前向きに受け止め、敗

幸 福

創部6年目、関東狙う

捕手・阿部、成長証明へ

戦を成長の糧にするため練習を重ねてきた。

その中で成長株は捕手の阿部将範だ。昨夏の大会までは投手や三塁手。強肩を買われてコンバートされた。「姿勢が重要。捕球から投球動作への切り替えの練習をやった」とセカンドスローの正確性に磨きをかける。配球も力ウントごとに打者の心理を読むよう意識、その成果を試す春を迎える。

「守備面でチームを盛り上げたい」と話す捕手・阿部

球春の光

県高校野球地区予選

11日開幕

< 下野新聞 2015 年4月8日付より >